

1/23 記者会見 発言メモ

KEY : MESSEGE 2023 年インバウンド来阪人数は 979.8 万人（2019 年比 85%）の回復となったが、大阪での 1 人あたり消費単価が 9.4 万円（2019 年比 131%）となったため、大阪府内での消費額は 9,210 億円（2019 年比 111%）とコロナ前を上回った。

ポイント ①インバウンド来阪者数推定実績は 2023 年合計で 979.8 万人（2019 年比 85%）。

中国を除いた 2023 年推定実績は 853.6 万人（2019 年比 125.1%）。

2024 年は中国を除いた 1,067 万人（2023 年比 125.1%）に加えて中国 333 万人（2019 年比 71%、2023 年比 264%）で 1,400 万人を目指す。

2019 年との比較で国・地域別にみると

東アジア 4 ヶ国・地域の構成比が 76%→2023 年は 63%に低下。韓国は 149%、中国は 27%

代わって東南アジア 13%→17% 2019 年比で伸びたのはシンガポール 158%、インド 140%

欧米豪 12→20% 2019 年比伸びたのは米国 169%、カタール 143%、豪 132%、独 129%

②観光庁訪日外国人消費動向調査（7-9 月）によると大阪府での消費額は 9.4 万円（131.2%）。

大阪府内の消費額 2019 年： 1,152.5 万人×7.2 万円＝8,298 億円

2023 年： 979.8 万人×9.4 万円＝9,210 億円（2019 年比 111.0%）

③関空入国外国人（12 月） 72.2 万人（前月比 108.7%、2019 年比 110.2%）

関空便では今年度下期に中東（UAE、トルコ、カタール）便が随時増便される。

中東はもちろん、各地からの乗継でヨーロッパ各地からのインバウンド増加を期待